

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010 年 4 月 1 日を以って NEC エレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010 年 4 月 1 日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>

E-mail: csc@renesas.com

製品分類		MPU&MCU		発行番号	TN-SH7-A594A/J	Rev.	第 1 版
題名	SH7261/SH7201 グループ製品のデバッグ機能使用時の注意事項				情報分類	技術情報	
適用製品	SH7261 グループ SH7201 グループ		対象ロット等	関連資料	SH7261 グループハードウェアマニュアル Rev. 1.00 RJJ09B0349-0100 SH7201 グループハードウェアマニュアル Rev. 1.00 RJJ09B0350-0100 SuperH™ファミリ用E10A-USB エミュレータ ユーザーズマニュアル Rev. 5.00 RJJ10B0056-0500 ユーザーズマニュアル 別冊 (SH72611 SH72612 ご使用時の補足説明) Rev. 2.00 RJJ10J1551-0200		
			全ロット				

貴社、益々御清栄の段お慶び申し上げます。平素はルネサステクノロジ半導体製品のご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

題記の件、SH7261/SH7201 グループ製品 におきまして、デバッグ機能使用時ににおける注意事項がございますので、ご案内申し上げます。ご理解の上、ご対応頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

- 記 -

SDRAMを32ビットバス接続したシステムにおきまして、下記競合条件が発生した場合に、不具合が発生する可能性があります。

- ・ 32ビットバス接続のSDRAMのキャッシュフィル（バースト）
- ・ CPUアクセス
- ・ H-UDIアクセス（E10A-USBあるいはサードパーティー製JTAG接続エミュレータによるH-UDIリード／ライト）、およびAUDアクセス（AUD-IIのRAMモニタ機能）

1. E10A-USBおよびサードパーティー製JTAG接続エミュレータ使用時における注意事項

E10A-USBあるいはサードパーティー製JTAG接続エミュレータによるH-UDIリード／ライトによるメモリアクセスを行う動作で、上記しました競合条件が発生した場合に不具合が発生する可能性があります。以下のウィンドウ機能はユーザプログラム実行中、H-UDIによるアクセスが発生しますので、SDRAMを32ビットバス接続したシステムにおきましては、使用しないようお願い致します。

■自動でH-UDIアクセスを行うウィンドウ（E10A-USBの場合）

以下のウィンドウは自動でH-UDIリードによるメモリアクセスを行いますので不具合の発生を防ぐため、ウィンドウ自体を開かないでください。

- ・ [モニタ]ウィンドウ
- ・ [スタックトレース]ウィンドウ
- ・ [ウォッチ]ウィンドウ（自動更新有効時）

- ・ [画像]ウィンドウ（自動更新有効時）
- ・ [波形]ウィンドウ（自動更新有効時）

■ ユーザ操作によりH-UDIアクセスを行うウィンドウ（E10A-USBの場合）

次のウィンドウはユーザプログラム実行中、ユーザ操作により、
H-UDIアクセスによるメモリアccessを行います。

同様に不具合の発生を防ぐため、ユーザプログラム実行中に
下記の操作を行わないでください。

- ・ [メモリ]ウィンドウの更新（[最新の情報に更新]の選択）
- ・ [メモリ]ウィンドウのメモリ内容の変更
- ・ Cソースのツールチップ表示（Cソース上の変数の参照）
- ・ オンチップブレーク設定（カラムのダブルクリックによる設定も含む）
- ・ [I/O]ウィンドウの更新（[最新の情報に更新]の選択）
- ・ [I/O]ウィンドウのレジスタ内容の変更

※ユーザプログラム実行中のみです、ユーザプログラム停止中は問題ありません。

2. AUD-IIのRAMモニタ機能使用時における注意事項

AUD-IIのRAMモニタ機能によるメモリアccessを行う動作で、上記しました競合条件が発生した場合に不具合が発生する可能性があります。SDRAMを32ビットバス接続したシステムにおきましては、ユーザプログラム実行中、RAMモニタ機能によるメモリアccessが発生しないようにお願い致します。

以上